

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL<0762>52-2271 FAX52-2273

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL<0762>22-2525 FAX24-2882

会長：清水 忠 幹事：米沢 真二

情報委員長：吉田富士夫

1990年5月10日 第414号

新しい時代の家族生活と都市文化

北陸大学助教授 石原 多賀子 氏



昨今は女性の時代と呼ばれるようになり、家庭に於ては主婦として、子供に対しては母として躾や教育に中心的な役割を果たすようになりました。しかし女性のこのような立場は、時代と共に変化して来たのであって、昔しよりこの様であったわけではありません。30年前の農村の嫁は、早朝より夜遅くまでの長い時間の労働に耐え、姑に仕える事が第一の務めであり、我が子の育児は自分の手より取り上げられていたのです。この様な時代は農業人口が45%と言う社会であり、特に農家にあつては親から子へと無条件的に農業を継ぐ「家

業社会」であつて、家庭とは一種の職業教育の場でもありました。このように変化の無い、又変化を求めない家庭や社会環境にあつては古い慣習が重くのしかかり、我が子さえ自分の体のぬくもりで育てることが出来なかったものであり、若い母親の女性には辛い時代であつたのです。

時は変わり、産業が大きく拡大し、農業人口も現在では9%まで減り、農家の生活様式も大きく変るとともに、家庭での家族に対する慣習や役割も変化してきました。都市化される農村にあつては、兼業化が進み、サラリーマン社会へと移行しました。この社会は従来の「家業社会」で親が直接に職業教育したのとは大きく異なり、職業教育の出来ない社会構造であります。家庭内では家族一人々々の役割に分業化が進み、家庭での子供の養育は産業社会へ出て行くための養成機関になり、キャリアコースへ進ませるための教育に、母親の関心と力が注がれるようになって来たのです。

この様に、女性の地位と立場は社会の産業構造の大きな変化によって開放され、強くなり、女性の時代と呼ばれるようになりました。しかしながら未だに女性を評価する基準には、家族に対して手作りのサービスが多いかどうか、家庭的であるかどうかを踏み絵となつて残っているのではないのでしょうか。社会の変化とともに女性や家族のあり方の判断も変つて来ていますから、従来通りに男はどう、女だからこうすべきだと言うのではなく、今年の婦人週間のキャッチフレーズ「しなやかに、男と女のあたりまえ」のように、柔軟な考え方でお互いに補い、手を継ぎあつた家族の結びつきであつてほしいと思っています。又、地域社会の活性化は単に企業や産業が拡大するだけではなく、その担い手である人々の家族生活や生活文化が豊かでなければ薄っぺらい物となるでしょう。家族における人間関係が最も大切なベースであることをお話しして終りたいと思います。

—金沢北RC例会講話より— (文責 磯野洋明)

私 の 名 刺

梅 原 信 彦



平成2年2月2日金沢に赴任してまいりました2月2日生れの梅原でございます。

この度、伝統ある「金沢北ロータリークラブ」のメンバーに加えていただき、大変光栄に思っております。有難うございました。

私は住友海上火災保険株式会社の社員として、本年2月金沢支店長を拝命し、前任地東京から赴任してまいりました。金沢に住むのは初めてですが、人情の厚い、また生活のしやすい素晴らしいところと聞いてまいりましたが、正しくそのとおりで、毎日の生活をエン

ジョイしています。

当社では、火災保険、自動車保険、傷害保険など各種保険を取り扱っていますが、これら損害保険は「一人は万人のために、万人は一人のために」という相互扶助の精神に基づいて、お客様に安心と安全をお届けする使命を担っています。当金沢においては明治41年に事務所を設置以来、永年ご愛顧をいただいておりますが、今後ともより良い保険商品の提供、各種サービスの拡充を通じ、地域に密着した「安心と安全の総合コンサルタント」として努力してまいる所存です。損害保険全般に関し、ご質問ご要望等があれば、何なりとお申し付け下さい。

私は昭和16年に大阪で生まれ育ちました。昭和38年住友海上に入社後も、当初は大阪、その後福岡、東京勤務を経て、この度金沢にまいりましたが、長女の就職、長男の学校などの関係で単身赴任しております。加賀百万石の情緒と現代都市のモダンな顔を持つ地元金沢、日本海が作りあげた豪快な海岸美の能登半島、個性ある4つの湯の街加賀温泉郷など、旅行好きの私にとってこの上ないところへ転勤できましたので、仕事は当然のことながらプライベートの面でも充実した毎日にしたいと思っております。

この度の入会に際し、先輩会員からご指導いただいた点を肝に銘じ、ロータリアンとして名に恥じないメンバーとなるよう努力いたします。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

第5回 金沢北RCゴルフコンペ成績表

4月27日(金) 片山津GCにて

		OUT	IN	G	HCP	NET		
優 勝	坪 田 良 三	42	40	82	12	70	ニアピン	米永、坪田
準優勝	米 沢 真 二	48	50	98	20	78	ドラコン	松本、坪田
第3位	安 宅 雅 夫	46	50	96	15	81	B B 賞	広沢正美
第4位	木 村 佐 陽 子	56	57	113	30	83		
第5位	松 本 範 夫	48	52	100	15	85		

京都洛北RC友好訪問と花博

友好副委員長 中谷 栄治



彦根まで

4月22日快晴、山岸ショールーム前に全員35名(彦根より4名参加、会員18名、夫人15名、交換学生ハザー・オクレスト、家族1名)集合。AM 8:30定時東インターより北陸高速道に入り一路洛北RCの待つ彦根へと出発。車中中村副会長のご挨拶、佃友好委員長の軽妙な司会で各自紹介を兼ねロータリーについて意見等車中ホールラム特に越野先生のゴミと自然環境についてすばらしいお話には我々地球人として深く考えさせられました。又奥様方より常日頃ご主人への不満もチョッピリ爆笑の渦の中、定刻前に料亭「やす井」に到着。浅田(豊)夫妻、浅田(禎)さん、山本さんと合流し、全員北クラブ特製の法被を羽おって会場へ……。



彦根にて

料亭「やす井」の玄関にて洛北RCの皆様(50名)と再開、小憩の後大広間にて春の合同懇親会が始まる。洛北RC会長成田さんの歓迎の挨拶、北RC中村副会長の訪問の挨拶、乾杯の音頭で宴げが始まり再開を喜び、杯を重ね、両クラブの親睦、交流を深め話が弾む。話題はなんと云っても北RCのハッピー。坂下さん、佃さんよりハッピーの凶案、染等の説明に当方全員鼻高々……。会食後、彦根城博物館、難波多先生の幕末、井伊直弼の人間像について講話があり、引き続き彦根城奥向茶屋「御亭」へ禅を極めた大老井伊直弼の茶の湯を目のあたりに門外不出の井伊家蔵の名品、直弼好みの名器にて茶席、野点と洛北クラブの心配りに深く感銘を覚え暫し「わび」



の世界に浸る。彦根城博物館では、幕末から現代日本の夜明けまで、井伊大老の足跡と事実を知り、新たな直弼像を見る事が出来ました。時間も過ぎ、洛北の皆様御厚意に謝し、次回金沢での再開を約し、小雨の中車窓より互に手を振りながら京都へと名神道を走る。

京都にて

雨と夕方のラッシュ時の為、ホテル到着が30分程おくれそう。走行中のサロンカーより土屋さん持参のNTTご自慢の携帯電話が早速威力を発揮、ホテル・料亭への連絡も瞬時にOK。車中にて部屋割も決まり皆さん新鋭機にビックリ!予定より少々遅れて料亭「萬重」に着く。夕食は北クラブ内輪だけの宴会で、中村副会長ご挨拶、越野先生の乾杯と共にご夫人方の緊張感も解れ和気あいあい冗談の連発。早速くお待ちかねの祇園の舞妓・芸妓さんの登場、会場は一層盛り上る。

奥様方もハザー嬢も舞妓さんと並んで、撮影会に早がわり、続いて“だらり”の帯も艶やかに「春雨」「祇園小唄」の踊りの披露、皆さん本当に楽しそう……宴げも予定をはるかにオーバー、東京より参加頂いた浅田(豊)さんの五本締で終宴。萬重さんの各部屋に飾ってあるすばらしい名画・名器を観せて頂きロイヤルホテルへ戻る。酒宴の余韻もさめず、ホテルで二次会、三次会と京都の夜は更け行く。オツカレサマ……

花博

4月23日小雨。今日花博会場に両陛下がお見えになる為、混雑が予想され早朝ホテルを出発名神・近畿高速道を通りNTT館に近い北西ゲートで降車、色取りどりの花博会場に入る。雨も上り折角買った傘も邪魔になる。最初に球形のバピリオンフロラ・ドームに入る、NTTのテーマは「人と自然のコミュニケーション」直径23mの半球形劇場に映し出す新鮮な画像と迫力ある立体音響は初体験、そして最後のナレーションは、「人間は一人では生きて行けない」と!

つづいてサントリー館へ急ぐ、館内特別席へ案内され偏光メガネをかけタテ23m、ヨコ30m世界最大のスクリーンに映る立体映像に迫力満点ロッキー山脈に生息する野生動物、植物をとりあげ、自然界と人間文明とのかかわりを改めて問い直そうと云うものです……メインロードに出ると人、人、人……

先頭も見うしないそうになりながらタケダ憩いの庭へ、基本テーマは「憩い・生命のリフレッシュ」りんごの鮮やかな色素を世界で初めてバイオ技術で作出す事に成功。その過程を見せて頂き薬草の神秘を体感しました。NTT館サントリー館、タケダ憩いの庭館の入館に際し土屋さん、及川さん、浅田(禎)さんに大変なお世話を頂き厚く御礼申し上げます。

今回の洛北RC訪問には佃委員長、米沢(真)幹事をはじめ参加皆様のご協力で友好親善の實を結び、無事帰沢出来ました事に深く感謝申し上げます。



3月例会出席状況

出席率 100%

会員名	月日						会員名	月日					
	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29	3月		3/1	3/8	3/15	3/22	3/29	3月
浅田 楨男	M	○	○	○	○	◎	岡田 進雄	M	○	○	○	M	◎
浅田 豊久	○	M	○	M	○	◎	奥田 久雄	○	○	○	M	○	◎
浅野 弘明	M	M	○	M	○	◎	乙村 舜吉	○	○	○	M	○	◎
安宅 雅夫	○	M	○	○	M	◎	坂口 幸市	○	○	M	M	○	◎
大藤 川重	○	○	M	M	○	◎	桜井 健太郎	M	M	○	○	○	◎
二木 正樹	○	○	○	○	○	◎	佐藤 正哲	○	M	M	○	○	◎
二塚 長生	○	○	○	○	○	◎	沢田 哲夫	○	○	○	○	○	◎
合田 昌英	○	○	M	M	M	◎	関柴 三郎	○	○	M	M	○	◎
橋谷 川 朔	M	○	○	○	M	◎	清水 喜代次	○	○	○	○	○	◎
長谷川 善昭	○	M	○	○	M	◎	清塩 鈴木	○	○	M	○	○	◎
高東 川 他美	M	M	○	○	M	◎	高嶋 菊	○	○	○	○	M	◎
本市 江川 則	○	○	M	M	○	◎	高滝 憲善	○	○	○	○	M	◎
飯野 健志	○	M	○	○	○	◎	滝玉 善三	○	○	○	○	M	◎
石野 幹夫	○	○	○	○	○	◎	俵田 外代	○	M	○	M	○	◎
磯野 洋明	○	○	○	○	M	◎	坪田 良三	○	○	M	○	○	◎
岩倉 舟伊	○	○	M	M	M	◎	土辻 一利	○	○	○	○	M	◎
勝田 誠一	○	○	○	○	○	◎	土屋 彦成	M	○	○	○	○	◎
木島 光丹	○	○	M	○	○	◎	佃 一忠	M	○	M	○	○	◎
木下 和敏	○	○	M	M	○	◎	上野 住安	M	○	○	○	○	◎
駒栄 宏好	○	○	M	M	○	◎	野野 三健	M	○	○	○	○	◎
小間 田 和民	○	○	○	○	M	◎	若早 稲田	○	○	○	○	○	◎
越野 杉男	○	○	○	○	○	◎	渡邊 一聰	M	○	M	M	M	◎
小杉 善嗣	○	○	○	M	○	◎	山岸 啓介	○	○	○	○	○	◎
畔柳 信一	○	○	○	○	○	◎	山上 本義	○	M	○	○	○	◎
増松 範夫	○	○	○	○	○	◎	山本 章麒	○	M	M	M	M	◎
松田 忠三	○	○	M	○	○	◎	米永 澤修	○	○	M	M	○	◎
本岡 三郎	○	○	○	○	○	◎	米沢 真一	○	○	○	○	○	◎
中村 三省	○	○	○	○	M	◎	米吉 富士	○	M	○	○	○	◎
中大 谷 栄	○	○	○	○	○	◎	米吉 英	○	○	○	○	○	◎
大場 川 雅弘	○	M	○	M	○	◎							
大川 村 精	○	○	○	○	M	◎							
岡田 林太郎	○	○	○	○	○	◎							

第827回例会

◆ 4月19日(木)はれ 12:30~13:30 松魚亭
1. 講話 「新しい時代の家族生活と都市文化」



北陸大学助教授
石原多賀子氏
2. 出欠
出席50名、欠席31名
出席率61.73%
ビジター32名
3. 来訪者(敬称略)
富山南RC 道島一男
(住宅関連器機)
金沢RC 徳田保久
永山憲三、宮村利雄
小川利郎、岩喬

黒崎昌俊、田次襄一、井上幸男
千田雅俊、河野良三、蚊谷八郎
横山英勝

金沢東RC 岡田房良、佐野泰夫
米沢秀男、浦田進、野村清

厚見益樹、砂崎友和、大樋年朗
小島一紀

金沢西RC 松村弘、嶋崎美納利
成瀬巖、松田正伊、酒井俊雄
金沢南RC 諸江汎、湯沢邦夫
猪苗代勉、三野裕

香林坊RC 村田秀彦

4. 幹事報告 ○ 大場松魚先生作の卓布 5,000円、事務局にて受付中。

5. 皆出席顕彰 14ヵ年 佃一成君

8ヵ年 米沢真二君、坂下直人君

6. ニコニコボックス

○ 第4回浅の川園遊会も無事終了致しました。多くの方々に御支援頂き、感謝致しております。今回の園遊会を記念して大場松魚先生のデザインの卓布を出しました。大場先生、奥田会員、浅田(楨)会員の御協力有難うございました。卓布御希望の方は、1枚 5,000円です。よろしくお願い致します。

米沢修一、佃 一成

